

平成27年4月12日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

郷土を愛し、人をはぐくみ 対話でつくる温もりの県政

温もりの県政推進への『5つの柱』を全力で取り組みます。

若者の雇用対策

山形らしい教育の推進

医療・福祉の充実

農業の経営安定対策

安全・安心の確保

困っている人に手を差し伸べるのが政治

老後の不安・子育ての不安・そして雇用不安……。本当に困っている方にいかに手を差し伸べるのか。それが政治の役割であると考えます。

そして、県は市町村を補完する立場にあります。住民の暮らしを豊かにするために県と市町村の垣根を取り外し、事業を一緒に行うことが求められています。しっかりと連携して“住んでよかったやまがた”をめざして頑張っています。



プロフィール

1952(昭和27)年 なたぎりとうげ
尾花沢市市野々(山刀伐峠)生まれ
1971(昭和46)年
・県立楯岡高校卒業・県職員採用
(教育委員会・企画調整・商工労働開発・土木行政に携わる)
1991(平成3)年
・山形市議会議員に初当選(4期連続)
2007(平成19)年
・山形県議会議員に初当選(現在2期目)
■現職
厚生環境常任委員、子ども育成・若者支援対策特別委員長、社民党県連合幹事長、社民党東北ブロック議長、南沼原地区町内会連合会顧問
■趣味
釣り、囲碁、自然探索

http://www.keisuke-t.com/

高橋けいすけ 検索



高橋
けいすけ
社民党公認

東北が連携して政策を考える時！

山形市立出羽小学校、山形市立第七中学校、県立山形西高等学校、同志社大学卒業。山形テレビ報道制作局勤務。
平成19年山形県議会議員初当選。現在二期目。
中小企業経営力強化・人材育成対策特別委員長／
自民党県連女性局長／山形県紅花生産組合連合会会長／
県都山形北部開発促進協議会会長／山形県私学振興議員連盟世話人

●議員定数の見直しや効率的な行政デザインを

●県と山形市が連携して文化施設整備のブランド

●人口減少社会に対応した取り組みを！

●病児・病後児保育の整備拡大と広域利用の促進

●障がい者、高齢者が安心して暮らせる環境づくり

●中小企業の支援充実と雇用の確保

●将来に向けて安心して取り組める農業政策を

●安心して暮らせる山形に！

●児童虐待防止対策に親の支援充実を

●いじめ・不登校防止対策にスクールソーシャル

●ワーカーの活用

●子どもたちの命をまもる政策を！

●観光立県山形へ！世界の蔵王と山寺に

●外国人観光客の誘客と県産品の輸出拡大

●航空機を活用した物流ルートの確立

●もつと外に目を向けよう！広報戦略が鍵！

●山形県の孤立をストップ！

●仙山線の抜本的改革

●山寺と秋保を結ぶ二口トンネル構想の実現

●山形県が真に地方創生を実現するためには、その土台となる

●基盤整備が必要です。県都山形市が大雨や大雪で孤立するよう

●なことがあつてはなりません。私たちの足だけでなく観光や物

●流など様々な産業に影響を及ぼします。特に宮城県との横軸

●ルートの強化は喫緊の課題です。

●また、人口が減少する中で、それぞれの県でしのぎを削るの

●ではなく、東北が連携して政策を考える時です。そして、山形

●県が生き残るためには県外海外に向けた積極的な政策とその実

●現のための広報戦略が必要だと感じています。

●現在、山形県議会は44人中、女性議員は2人ですが、多様性

●が重要視される社会において、議会でも女性の視点を活かした

●議論が不可欠だと感じています。



自由民主党公認
大内りか

女性の視点で
地方創生

http://www.oouchirika.com/

大内りか

検索



自民党

まじめに、まっすぐ山形の力。

人口減少にストップ・山形県に成長戦略を!! やまがたに7つのチカラこぶ。

イトコいっぱい山形県!

やまがたのチカラを

活かす、伸ばす、育てるセイジの力へ。

- 〈1〉中心市街地の活性化にチカラ
- 〈2〉農業の活力・魅力アップと働きがいある環境づくりにチカラ
- 〈3〉県産品・独自産業の発展と商工観光にチカラ
- 〈4〉子育てを社会全体で支える福祉潤うふるさとづくりにチカラ
- 〈5〉女性が輝くバランスに優れた社会づくりにチカラ
- 〈6〉教育こそ近道。スポーツと地域教育力の向上にチカラ
- 〈7〉中小地元企業の経営力支援・若者就労の元気創出にチカラ

奥山せいじプロフィール・略歴

昭和34年 山形市生まれ(55歳)
(妻・二女・父5人家族)
諏訪幼稚園・山十小・山三中 卒
昭和53年 山商卒(野球部)
昭和57年 国士舘大学政経学部卒(野球部)
新聞善久県議秘書を17年間務める

県議会再生可能エネルギー導入促進対策特別委員長
// 広報公聴委員長
// 厚生環境常任副委員長
// スポーツ振興議連副会長
// 難病対策議連会計幹事
日本台湾友好親善山形県議会議連副会長

山形県スケート連盟会長
// サイクリング協会副会長
国士舘大学同窓会山形県副会長
山形商業高校野球部OB会「球友会」副会長
自民党県連広報委員長
自由民主党山形県山形市第五支部支部長



自民党公認
奥山せいじ

平成27年4月12日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

安倍暴走
政治から

県民のくらし守ります



日本共産党
渡辺
ゆり子

「弱い立場の人にこそ政治の光を」の思いで28年間議員活動をしてきました。みなさんから寄せられた願いを県政に届け、福祉灯油の実施、子ども医療費の無料化、農家に「種もみ」購入費の補助など、多くのことが実現できました。消費税増税、TPP参加、戦争する国づくりなど、安倍暴走政治から、くらし福祉、平和を守りがんばります。3期目の挑戦です。みなさんのお力で県政に送ってください。

新しい県議会に提案します

●国保・介護保険の軽減、特養待機者の解消を

●子ども医療費は高校卒業まで無料に

●看護師・医師の養成と確保を

●対象工事を広げ、住宅リフォーム助成制度拡充を

●TPP撤退、米価暴落対策を

●返済不要の給付型奨学金制度の創設

●憲法守り、戦争立法反対
●原発ゼロ・再稼働ストップ
●消費税増税中止

プロフィール

1952年(昭和27)米沢市生まれ。山形大学工学部卒、製薬会社勤務。87年(昭和62)山形市議5期。07年県議初当選。(現在)山形県議会議員(2期)、新日本婦人の会山形県本部委員、山形民主労働会顧問、やまがた健康友の会常任幹事。【家族】夫。青田在住。



自由民主党公認
今井
えい
いき

東日本大震災から四年、今も県内に四千人以上の方々が避難していらっしゃいます。一日も早い復旧と復興を祈りつつ、精一杯の政治活動をしてまいります。

県政に喝!

ストップ人口減!
山形創生を今!!

- 1 高速道路網の早期完成で観光の活性化
- 2 重粒子線治療でがんの克服と産業化で雇用創出
- 3 スパイバー(クモ糸繊維)や有機ELの実用化で企業誘致と雇用の確保
- 4 看護・保育・介護の充実をはかり、お年寄りから子育て世代まで安心して生活できるための環境の整備
- 5 私立の学校・幼稚園・保育園等への助成の拡充で親や私学の負担軽減
- 6 新しい戦略的農業の推進と「やまがた森林(モリ)ノミクス」の展開そして、6次産業化で中山間地農業・農村の活性化
- 7 災害に強い街づくりと再生エネルギー木質バイオマス発電の推進
- 8 地場産業の育成と県産品の市場開拓を推進

今が大事な時
今井がやらずに
誰がやる!!

- “夢”の実現に向けて
- ◆フル規格新幹線、90分で東京へ!
 - ◆重粒子線ガン治療機+医療+温泉+観光=医療ツーリズムの街へ! 山形から世界へ、世界から山形へ!
 - ◆県都にふさわしいスポーツ施設の充実を!

議員の足跡
●第26代県議会議長
●第30代・32代自由民主党山形県連幹事長
●当選6回
●芸工大設置・大震災特別委員長・県拉致議連会長

大好きな山形!! みんなでもっと良くします!!

輝ける山形の
未来を

今こそ山形創生



自由民主党公認
金沢忠
ちゅういち

初心を忘れず
「今日流した汗が
明日に活きる政治を!」
そして大好きな山形がもっと良くなるよう、皆さんと共に頑張っていく決意であります。

プロフィール

昭和25年 元山形市長金沢忠雄の長男として沼木に生まれる
昭和38年 山形市立南沼原小学校卒業
昭和41年 山形市立第三中学校卒業
昭和44年 日本大学山形高等学校卒業
その後日本大学文理学部に進学
山形県農業共済組合連合会(NOSAI)に勤務しながら山形市立第十中学校PTA会長や山形市消防団第21分団長として地域活動に力を注ぐ。
平成13年 県議会議員補欠選挙で初当選(現在四期目)
平成25年 第58代山形県議会副議長

安全・安心な地域づくりを目指す!

- ◇災害に強い危機管理体制の確立
- ◇再生可能エネルギーの活用促進

元気になる企業体系と安心して働ける雇用の確立!

- ◇地元中小企業の経営安定対策
- ◇企業誘致促進による若者・女性の安定雇用の拡大

子供たちに未来を! 高齢者は生きがいを!

- ◇結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援体制の確立
- ◇待機者解消のため、保育所並びに介護施設を整備増設
- ◇医師、看護師並びに介護士確保による医療・介護体制の充実

健全な行財政の運営を図る!

- ◇事業評価及び費用対効果による財務の健全化
- ◇行財政改革による組織体制の見直しと事務経費の節減

「食糧供給県 山形」を目指す攻めの農業!

- ◇担い手就農者が期待をもって従事できる支援体制の確立
- ◇県農産物のブランド化による販路拡大

教育・スポーツ・文化観光振興の促進!

- ◇あかねヶ丘陸上競技場を拠点とする総合運動施設の誘致(サッカースタジアムなど)
- ◇地域観光資源を活用した国内外観光客の誘客促進
- ◇「いのちの教育」推進

平成27年4月12日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

希望輝く山形を創生します!! ～人口減少時代に備える～

山形
創生へ3つの提案!観光で
稼ぐ

- ◇女性と若者が活躍する、アジアの観光立県“YAMAGATA”を創生します
- 「トータル・ジョブサポート山形」を拡充し、中心部の公共施設に加えて民間の大型商業施設への設置を進め、利便性と人材育成・斡旋機能を高めます。
 - アジアの観光立県“YAMAGATA”を目指し、観光産業を拡大させて雇用を増やします。

人材を
育てる

- ◇新たな“生(いのち)”を育むまち“やまがた”を創生します
- 山形で生まれ育つ子どもたちの保育と教育の質・量ともに拡充するために、施設と施策の改編・整備を促進します。
 - 子どもたちの未来を拓く心身の育ちと学びを豊かにするために、多様かつ質の高い教育環境を整えます。

高齢者を
支える

- ◇市民協働のまちづくりで、老いも若きも支え合う“山形家族”を創生します
- 「公共施設の複合化・多機能化」と「市民協働支援システム」の構築により、多様な市民の協働によるまちづくりを推進します。
 - 人口減少先進県として、日本とアジアの先進モデル地域にします。



〈プロフィール〉
昭和38年10月生まれ（51歳）
57年3月 秋田県立六郷高校卒業
平成11年4月 山形市議会議員初当選
3期12年（23年4月まで）
平成23年4月 山形県議会議員（現1期）
〔現在〕
子ども育成・若者支援対策特別委員会委員
公明党山形県本部代表
山形ボクシング協会顧問



公明党
きくち文昭
ふみあき

投票日

4月12日(日)

投票日に用事がある方は、4月11日(土)まで

期日前投票ができます。

◇期日前投票の制度があります。

投票日に用事があり投票所に行けない方は、4月4日（告示日の翌日）から4月11日（投票日の前日）までの間に、前もって投票することができます。

詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会へお問い合わせください。

◇入場券をお持ちください。

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。

もし、入場券を忘れたときや、入場券が配られなかったときは、投票所の受付係に申し出ていただき、御本人と確認できれば投票することができます。

